

2012年11月7日
王 旭陽

インターンシップ報告書

国際開発工学科 4年
花岡研究室
王 旭陽
オウ キョクヨウ

受入企業と機密保守の契約を結んだため、本レポートにおいては、詳細の業務フロー、データや写真の使用を控えさせていただいております。ご了承ください。

1. 概要

- ・勤務先：富士通株式会社（日本国内）
- ・所属部署：インフラ事業本部・部品統括部・計画部 / 物流部 / 工務部
- ・受け入れ人数：2
- ・実習テーマ：IT サービス物流（保守）におけるサプライティーンマネジメントの戦略立案と ICT 技術等を活用したロジスティクス革新活動
- ・期間：9月10日～9月28日（土日祝日除き）
- ・場所：武蔵小杉
- ・手当：1000円 / 日（食事補助として）、交通費全額
- ・スケジュール：

	部署	始業	8:40～12:20	昼休み	12:20～17:30	終業～	
9月10日（月）	計画部		全体オリエンテーション （@武蔵中原）		業務内容説明 （計画部・物流部）		
9月11日（火）	物流部		リロケーション活動、 パーツフロントの説明		東京中央パーツセンター見学 （@飯田橋）	計画部歓迎会	
9月12日（水）			パートナー制度、 QBR活動の説明		EXPセンター見学（@水道橋）		
9月13日（木）			東日本補給センター見学（@川崎）				物流部歓迎会
9月14日（金）			資料整理、報告書作成		パーツセンター品質監査活動（@立川）		
9月17日（月）	祝日						
9月18日（火）	工務部		業務内容説明 （工務部）		配置、発注、補給作業の説明		
9月19日（水）			手配作業の説明、 工務部部会		OSC見学、緊急配置とMSC の説明		
9月20日（木）			枯渇対策会議 （@武蔵中原）		QBR活動－ 物流品質対策会議	工務部歓迎会	
9月21日（金）			資料整理、報告書作成		沼津工場見学（@静岡・三島）		
9月24日（月）			グローバル関連保守活 動の説明		新人教育成果発表会		
9月25日（火）			資料整理、報告書作成		資料整理、報告書作成		
9月26日（水）		資料整理、報告書作成		資料整理、報告書作成			
9月27日（木）		資料整理、報告書作成		インターンシップ成果発表会	部品統括部送別会		
9月28日（金）			資料整理、報告書作成		富士通テクノロジーホール見 学、全体インターンシップ成果 発表		

2. インターンシップの準備

①情報収集

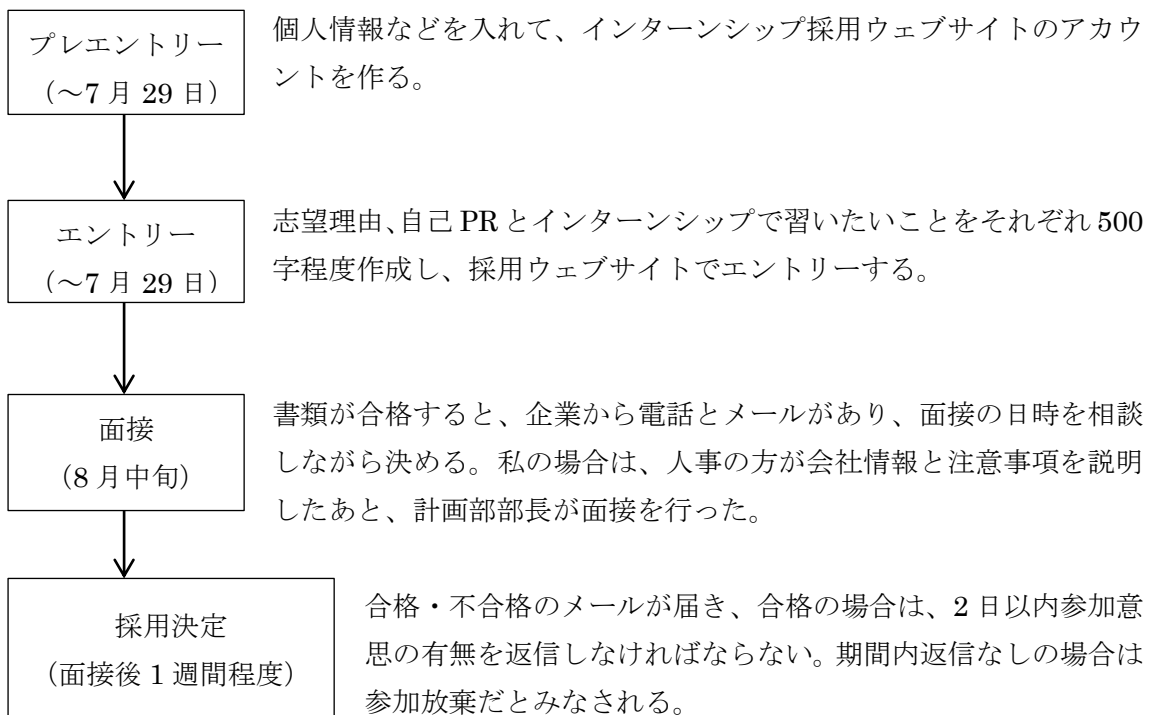
5月ゴールデンウィックの後に、以下、日本の就職支援サイトに登録した。

- ・リクナビ<<http://job.rikunabi.com/2014>>
- ・マイナビ<<http://job.mynavi.jp/14/pc/corpinfo/displayCorpSearchByIs>>
- ・理系ナビ<<http://www.rikeinavi.com/int/index.php>>

企業の情報や就職活動に関する知識はインターネットで収集できる。そして7月から、ほとんどの夏休み期間内のインターンシップ情報は調べるようになった。ウェブサイトを通じて簡単に申し込むことができる。

②申し込み

今回のインターンシップについては、参加するまでには以下の流れがあった。



就職情報サイトには私の受け入れ先以外にもメーカー、商社、金融・保険・証券、通信・情報など、多数の業界のインターンシップ情報が載せてある。ただ学科の単位として認定されるものは限られているので、事前に担当の教授まで確認したほうが無難である。

3. 業務（この部分は発表資料に参考する）

- ・概要：計画部・物流部・工務部の3つの部門で業務を体験したことにより、保守部品SCMの上流工程（調達、全国倉庫への配備等）から下流工程（保守管理、保守部品提供）まで

経験した。

・業務目標：SCMの一連の流れを経験したうえで、現状の問題点・改善点の提示とその解決施策を提案する。

4. インターンシップ成果：

①IT 情報産業、特にインフラ施設に関する保守サービスの提供しかたを理解した。

②現在保守部品の物流活動の行いかたと以下の特性を理解した。

- ・保守部品の物流活動には、大量運送よりは精確性と迅速性が最も大切である。
 - ・インフラ施設の保守について、緊急の場合が多いが、施設密度の高い都心部より地方施設の故障は緊急になりやすい。
 - ・倉庫の立地条件については、日本の諸事情により昔とは変化している。燃費が安く、用地が高い時代は郊外に倉庫を建てるが多かったが、今は燃費が高く、用地が安くなってきた。倉庫のロケーションを都心部に移すことにより、公共交通も活用することができ、運送コストを下げるほか、運送時間も短縮することができる。
 - ・製造業の物流活動は専門の物流会社に依頼することが主流である。そしてサービスを向上させるためには、複数の物流会社に依頼したほうがいい。しかし依頼を受けた物流会社は全部の作業を自分で行うことだけでなく、また他の会社に依頼することが多い。このやり方では物流事故のリスク管理が困難になる。複数の会社の管理システムを統一することは考えられている。
 - ・物流センターの規模が大きくなればなるほど、日常の整理整頓が大切になる。仕分け、個装、ピッキング等の作業はまだ人手に頼る場合が多く、マニュアル通りに教育することが大事である。
 - ・物流活動の品質監査については、厳密、同一の評価基準を作成したうえで、こまめにチェックすることが大事である
- ③職場生活から以下のことを理解した。
- ・仕事は生活の一部だと認識しないといけない。
 - ・社会人と学生の違いは、何事も責任をもってやっていることだと考えられる。
 - ・日本企業の良さは、個々の人の力を合わせて、地味だと見えているところでも成功できる。

以上